

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成29年8月17日(2017.8.17)

【公表番号】特表2016-525605(P2016-525605A)

【公表日】平成28年8月25日(2016.8.25)

【年通号数】公開・登録公報2016-051

【出願番号】特願2016-528547(P2016-528547)

【国際特許分類】

C 08 G 18/00 (2006.01)

C 08 G 18/18 (2006.01)

C 08 G 18/30 (2006.01)

C 08 G 18/65 (2006.01)

C 08 G 101/00 (2006.01)

【F I】

C 08 G 18/00 0 3 0

C 08 G 18/18

C 08 G 18/30 0 2 0

C 08 G 18/65

C 08 G 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成29年7月10日(2017.7.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

硬質フォームの製造方法であって、少なくとも1種のポリイソシアネートと、少なくとも1種のポリエポキシド、水及び少なくとも1種の他の水素酸性化合物を含む混合物との反応を含み、前記反応が少なくとも1個の窒素原子を有する無金属ルイス塩基の存在下で行われ、

その触媒が、1,8-ジアザビシクロ-5,4,0-ウンデセン-7-エン、N-メチル-N'-(ジメチルアミノメチル)ピペラジン、ペンタメチルジエチレントリアミン、メチルイミダゾール、並びに、これらの混合物及び誘導体からなる群から選択されることを特徴とする方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項12

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項12】

少なくとも1種のポリイソシアネートと、少なくとも1種のポリエポキシド、水及び少なくとも1種の他の水素酸性化合物を含む混合物との反応を含む方法により得られる又は得られた硬質フォームであって、前記反応が少なくとも1個の窒素原子を有する無金属ルイス塩基の存在下で行われることを特徴とする硬質フォーム。

